

事務事業 No./名称	□サービス部門 総務-12 職員厚生事務 ■支援部門								
主管課	職員課 厚生健康担当	関連課							
分野名	行財政運営								
目標 (目標値)	・職員の安全衛生向上 ・健康診断受診率の向上 ・定期健康診断の単価								
人口等のデータ	データ区分	23年度	22年度	21年度	備考 ・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	人口	177,204人	177,161人	176,669人					
	世帯数	79,217世帯	78,812世帯	78,131世帯					
運営資源状況	事業の対象者数	1,377人							
	決算値(千円)	75,272	67,741	73,631					
	(国・県)								
	(負担金等)								
	(一般財源)	75,272	67,741	73,631					
	人員配置数	5.0	5.3	4.3					
	人件費(千円)	42,578	45,856	40,159					
事務事業運営経費	協働のパートナー								
	総事業費(千円)	117,850	113,597	113,790					
	市民1人当りの経費(円)	665	641	644					
	対象者1人当りの経費(円)	85,585	81,724	81,278					
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名⇒	鎌倉市	横須賀市	平塚市	藤沢市	逗子市			
	事後指導	定期・ドック	定期・ドック	定期・ドック	定期のみ	定期・ドック			
	メンタル医相談	月3回	月1回	なし	月1回	月1回			
	過重労働対策	実施済	実施済	実施済	実施済	実施済			
指標	評価	年度	21年度	22年度	23年度	24年度	最終年度(年度)		
健康診断受診率	◎	目標値	98%	98%	98%	98%	98%	98%	
		実績値	98.0%	99.0%	99.0%				
◎目標を達成 ○目標に向かって前進									

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

中事業に含まれる小事業の評価(⇒個別事業の概要は裏面)

小事業名	H23決算値	評価	適切=○、要改善=△(評価の視点を参照)	⇒ 方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止
職員厚生事務	3,678千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	職員の公務災害等に対する災害補償			
福利厚生事務	45,837千円	①効率性 △ ②妥当性 △ ③有効性 △ ④公平性 △		⇒ □A □B ■C □D □E	
	事業の概要	職員用被服、職員の福利厚生事業			
安全衛生事務	16,992千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 ○		⇒ ■A □B □C □D □E	
	事業の概要	職員定期健康診断等の健診業務及びメンタルヘルスチェック、職員相談室開設業務等の実施			
総合健康診断事務	8,765千円	①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △		⇒ □A ■B □C □D □E	
	事業の概要	総合健康診断(人間ドック)の一部負担			
		①効率性 ○ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △		⇒ □A □B □C □D □E	
	事業の概要				

事務事業の課題及び取組状況

H23年度の課題	職員健康診断の受診率について、本来は全員受診の必要があるが、全員受診ができていない状況である。
課題解決のための取組	定期健康診断の未受診者及び人間ドックの受診未報告者には、数回通知や口頭等により受診勧奨や結果報告の提出を催促した。
未解決の課題	全職員の健康管理(催促された者の未受診や結果報告の未提出)

中事業の評価と今後の方向性

中事業の評価	適切=○ 要改善=△ (評価の視点を参照)	①効率性 △ ②妥当性 ○ ③有効性 ○ ④公平性 △	今後の方向性	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止	※□事業完了
			職員の健康管理、安全衛生対策については、重点課題と認識しており、引き続き有効な情報収集や効果的な取り組みを検討しつつ、対応可能な対策の実施に努めていく。	↓ A	課長等名 職員課担当課長 佐々木 聡

(2面) 個別事業の概要

(単位:千円)

小事業名	ザイムスコード	個別事業名	23年度予算	23年度決算値	個別事業の評価結果
職員厚生事務	471	職員の公務災害等に対する災害補償費	3,998	3,581	■適切 □見直し余地あり
福利厚生事務	509	職員用被服費	12,700	12,568	□適切 ■見直し余地あり
		職員の福利に係る外部委託料	23,650	17,673	□適切 ■見直し余地あり
		職員厚生会への業務委託料	17,700	15,501	□適切 ■見直し余地あり
安全衛生事務	510	定期健康診断等に係る普通旅費	1,219	483	■適切 □見直し余地あり
		職員定期健康診断委託料	9,382	7,861	■適切 □見直し余地あり
		メンタルヘルスチェック業務委託料	3,478	1,507	□適切 ■見直し余地あり
		職員相談室開催業務委託料	2,376	2,376	□適切 ■見直し余地あり
		深夜業務職員定期健康診断委託料	650	540	■適切 □見直し余地あり
		がん検診委託料	668	359	■適切 □見直し余地あり
総合健康診断事務	511	総合健康診断負担金	10,000	8,765	□適切 ■見直し余地あり
					□適切 □見直し余地あり